

(共同リリース)

日本航空株式会社

Sedex Information Exchange Limited

2015年4月16日

JALグループ、Sedex社グローバル・メンバーシップに参加

～リスクマネジメントを強化し、持続可能なサプライチェーンを構築します～

JALグループは、Sedex Information Exchange Limited(本社:英国ロンドン、代表:Tom Smith、以下「Sedex社」)のグローバル・メンバーシップに参加します。(2015年5月中に運用開始予定)

Sedex社は、グローバルサプライチェーンにおける倫理的かつ責任あるビジネス慣行の促進を目的として、ロンドンを本拠地に活動するNPO団体です。世界各国の顧客とサプライヤーに対して、オンライン情報プラットフォームを通じて情報を共有するとともに、サプライヤーの問題点改善状況のモニターを通じて、倫理的な事業慣行の拡大に取り組んでいます

JALグループは、企業の社会的責任(CSR)の観点で、グループ内での人権・労働慣行・安全衛生・環境・公正な事業慣行への着実な対応のみならず、Sedex社の提供するCSR情報プラットフォームを活用し、まずは、機内食や機内提供品など、お客さまに直接関わる物品を提供いただいているサプライヤーとのさらなる相互理解および信頼関係を構築し、責任ある調達活動を進めていくこととしました。

JALグループは、Sedex社との連携の下、サプライチェーンのリスクマネジメントを強化するとともに、持続可能なサプライチェーンの構築を通じて、社会のサステナビリティ*に貢献してまいります。

*サステナビリティ:人間活動が、将来にわたって持続可能かという概念。経済と環境・社会面を両立させることが必要とされる。



<Sedex Information Exchange Limited (Sedex 社) 概要>

- ・ 本社:ロンドン 支社:上海、ニューヨーク www.sedexglobal.com
- ・ 2004年に創立されたNPO。サプライチェーンのオンラインCSR情報、プラットフォームを有し、会員であるバイヤーとサプライヤー間でのCSR情報の共有を可能とする。(現会員数 38,000社)
- ・ 労働基準・健康と安全・環境・ビジネス慣行の4つの観点などからサプライヤーにおけるリスクを評価・管理する。
- ・ ロンドン五輪に引き続き、リオデジャネイロ五輪のサプライヤー評価を担当。
- ・ 広報代表(ロンドン): Mark Robertson, Head of Communications
 電話 +44 (0)20 7902 2328 メールアドレス mark.robertson@sedexglobal.com

以上